

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	CLIMAXレザーコート 主剤
製造元	株式会社ソフト99オートサービス 開発部 〒540-0038 大阪府大阪市中央区内淡路町 3-1-3 ☎ 06-6947-9955 FAX 06-6945-9991
製品説明	
*推奨用途	皮革用コーティング剤
*使用上の制限	業務用

2. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS 番号	含有量(%)	化審法	安衛法
純水	7732-18-5	94.2		
フッ素樹脂	—	3.5	一般化学物質	公表物質
アクリルシリコン	—	2.3	一般化学物質	公表物質

3. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性/引火性エアゾール 支燃性/酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過氧化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類対象外 区分外 分類対象外 区分外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 区分外 分類対象外 区分外 分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口) 急性毒性 (経皮) 急性毒性 (吸入・ガス) 急性毒性 (吸入・蒸気) 急性毒性 (吸入・粉じん)	区分外 区分外 分類対象外 区分外 分類対象外

	急性毒性（吸入・ミスト）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	目に対する重篤な損傷・目刺激性	区分外
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	区分外
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外
【GHS ラベル要素】		
絵表示又はシンボル	不要	
注意喚起語	不要	
危険有害性情報	不要	
注意書き		
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前に取扱説明書を入手すること。 ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 ・容器を密閉しておくこと。 ・取扱後に手をよく洗うこと。 	
応急措置		
皮膚にかかった場合	<ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 	
眼に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 	
吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 	
気分が悪い時	<ul style="list-style-type: none"> ・医師に連絡すること。 	
火災の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・消火に適切な手段を使用すること。 	
暴露又は暴露の懸念がある場合	<ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 	
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 	
廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 	

4. 応急措置

- | | |
|--------------------|--|
| 【吸入した場合】 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。 ・気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 |
| 【皮膚に付着した場合】 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。 ・気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 |
| 【眼に入った場合】 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。 ・気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 |
| 【飲み込んだ場合】 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に応急措置の必要はないものと考えられる。 ・気分が悪い時などは医師の診断を受けるのが望ましい。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| 【消火剤】 | ・ 二酸化炭素/粉末消火剤/散水/耐アルコール性泡消火剤/等。 |
| 【使ってはならない消火剤】 | ・ 無し。 |
| 【特有の危険有害性】 | ・ 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 |
| 【特有の消火方法】 | ・ 無し。 |
| 【消火を行う者の保護】 | ・ 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|--------------------------|--|
| 【人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置】 | ・ 付近の着火源を取り除き、風上から作業する。状況に応じて保護具（呼吸用保護具、手袋、長靴、眼鏡、マスク）を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。 |
| 【環境に対する注意事項】 | ・ 速やかに回収し拡散防止に努める。 |
| 【回収・中和方法】 | ・ 多量の場合はバキューム等で汲み上げ回収する。少量の場合は、流路を毛布、土嚢等を用いて堰き止める。少量の場合、乾燥砂、土、おがくずなどで覆い、シャベル、箒でかき集め密閉できる容器に回収する。 |
| 【封じ込め及び浄化方法及び機材】 | ・ 河川、湖沼へ流入した場合には、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡をとる。少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝集回収する |

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- | | |
|-------------------|--|
| 技術的対策 | ・ 鉄、銅、亜鉛、アルミ等の多価金属イオンは着色・ゲル化等の現象を起こす可能性があるため、製品貯蔵・配管・ブレンダー等の選択には注意が必要。 |
| 局所排気・全体換気
注意事項 | ・ スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置する。
・ 換気の良い場所で使用すること。容器を転倒・落下させる、引きずる又は容器に衝撃を加える等の粗暴な取り扱いをしない。 |
| 安全取扱注意事項 | ・ 眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用すること。保護具は第8章を参照。蒸気やミストを吸入しない。肌や目との接触を避ける。環境汚染を避けるために、適切な容器を使用する。 |
| 接触回避 | ・ 情報なし |

【保管】

- | | |
|-----------|--|
| 技術的対策 | ・ 皮張り防止のため、使用後は密閉して貯蔵する。 |
| 安全な保管条件 | ・ 保管時の温度が5℃以下、又は35℃以上にならないようにする。凍結、直射日光を避け屋内に保管する。開封した使用中の包装容器に、ゴミ等が入らないようにする。 |
| 安全な容器包装材料 | ・ 耐水性・耐久性のある容器を使用し、金属との接触はなるべく避けるようにすること。 |

8. 暴露防止及び保護措置

【管理濃度】	・設定なし。
【許容濃度】	・知見なし。
【設備対策】	・特別な対策を要さない。
【保護具】	
呼吸器の保護具	・不要
手の保護具	・保護手袋の着用が望ましい。
眼の保護具	・保護眼鏡の着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	・適切な保護具の着用が望ましい
【衛生対策】	・保護具は保護具点検表により定期的に点検すること。 ・取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

【物理的状态・形状・色】	・微白濁～褐色液体
【臭い】	・無臭
【pH】	・データなし
【融点】	・データなし
【沸点】	・100℃
【引火点】 (密閉式)	・無し
【発火点】	・無し
【爆発範囲】 (vol%)	・無し
【蒸気密度】 (空気=1)	・データなし
【比重】	・約 1.0
【溶解度】	・水に溶解
【オクタノール/水分配係数】	・データなし
【自然発火温度】	・データなし
【分解温度】	・データなし
【臭いのしきい値】	・データなし
【蒸発速度】 (酢酸ブチル=1)	・データなし
【粘度】	・データなし

10. 安定性及び反応性

【安定性】	・通常の取り扱い条件では安定
【危険有害反応可能性】	・なし。
【避けるべき条件】	・高温暴露。
【混触危険物質】	・微細な活性金属、アルカリ、アルカリ土類金属。
【危険有害な分解生成物】	・高温で分解して以下の有害物質を発生する可能性がある。 280℃以上 → フッ素樹脂モノマー、フッ化カルボニル 450℃以上 → フッ化水素 (HF)

11. 有害性情報

【急性毒性】

経口	全成分につき区分外。
経皮	全成分につき区分外。
吸入（ガス）	全成分につき分類対象外。
吸入（蒸気）	全成分につき区分外。
吸入（粉じん）	全成分につき分類対象外。
吸入（ミスト）	全成分につき区分外。

【皮膚腐食性・刺激性】

全成分につき区分外。

【眼に対する重篤な損傷・眼刺激性】

全成分につき区分外。

【呼吸器・皮膚感作性】

全成分につき区分外。

【生殖細胞変異原性】

全成分につき区分外。

【発がん性】

全成分につき区分外。

【生殖毒性】

全成分につき区分外。

【特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）】

全成分につき区分外。

【特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）】

全成分につき区分外。

【吸引性呼吸器有害性】

全成分につき区分外。

12. 環境影響情報

【水棲環境急性・慢性有害性】 ・全成分につき区分外。

13. 廃棄上の注意

【残余廃棄物】

- ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理 を委託する。

【汚染容器及び包装】

- ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

【国際規制】

国連番号

・該当しない。

国連分類

・該当しない

【国内規制】

・何れの規制にも該当しない。

【特別の安全対策】

・不要。

15. 適用法令

【化審法】

・一般化学物質（全成分につき）

【労働安全衛生法】

・公表物質（全成分につき）

16. その他の情報

【注記】 この製品安全データシートは、化学物質等安全データシートの日本工業規格（JIS Z 7250 : 2005）に沿って作成致しました。本記載内容は現時点で入手可能な資料や情報に基づいて作成しておりますが記載の数値や評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策実施のご配慮をお願いいたします。

また記載されている内容は情報提供であって保証するものではありません。